



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,067	△7.3	351	△12.2	368	△12.3	125	△32.9
29年3月期第2四半期	7,628	△4.8	400	7.9	420	34.5	186	47.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 398百万円 (989.4%) 29年3月期第2四半期 36百万円 (△80.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.48	—
29年3月期第2四半期	54.72	—

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,825	7,667	46.9
29年3月期	14,870	7,473	45.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,956百万円 29年3月期 6,795百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	△7.1	1,030	△10.3	1,030	△11.3	500	△30.2	147.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	3,614,252株	29年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	277,347株	29年3月期	277,115株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	3,337,029株	29年3月期2Q	3,405,908株

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第97回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 14円72銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な輸出を追い風に製造業を中心とした企業収益は拡大傾向にありますが、個人消費は伸びておらず、また中国経済鈍化の兆しにより、下期は経済の停滞が懸念されております。

染色加工業界におきましては、国内では、少子高齢化による人口減少や消費者の節約志向が根強く、特にファッション衣料品販売の落ち込みにより、厳しい受注環境が続いております。一方、海外では、当社の進出先であります東南アジア地域において、タイでは、衣料消費の停滞が長らく続いており、未だ本格的な回復には至っておりませんが、インドネシアでは、人口増加や賃金上昇などを背景に個人消費は堅調に推移しており、衣料分野や生活関連分野などでの需要増加が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループは、国内では染色加工事業にて安定した売り上げが見込まれる非衣料分野の受注強化を進め、海外ではインドネシア・タイの既存客先との取組強化及び、高単価・高品質商品の安定供給による受注拡大に加え、ミャンマー国内市場向けに販路開拓の調査も致しております。

また、非衣料分野の受注拡大に伴う売上単価の減少に対応するため、各生産拠点にて原価低減活動及び省エネ対策などを積極的に実施すると共に、成長事業である保育サービス事業の拡大や、本年5月から洗濯事業の稼働開始など、非繊維事業の拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,067百万円（前年同期比7.3%減、560百万円減）となりました。保育サービス事業や洗濯事業を含む、その他事業では増収となりましたが、縫製品販売事業では、採算重視の販売戦略の徹底により減収となったものの、黒字化しております。

利益面では、縫製品販売事業・倉庫事業においても利益の増加を図ったものの、主力の染色加工事業及び保育サービス事業の減益の影響もあり、営業利益351百万円（前年同期比12.2%減、49百万円減）、経常利益368百万円（前年同期比12.3%減、51百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益125百万円（前年同期比32.9%減、61百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は5,493百万円（前年同期比3.3%減、188百万円減）となり、営業利益は277百万円（前年同期比22.4%減、80百万円減）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

##### （加工料部門）

国内では、カジュアル婦人衣料の販売不振の影響から、編物加工分野及びプリント加工が減少しており、国内加工料部門は減収となりました。海外では、タイ子会社は、高単価商品の増加により増収となりましたが、インドネシア子会社では、レバラン大祭による休日が当第2四半期連結累計期間にあたり、操業日の減少により減収となり、加工料部門全体の売上高は4,364百万円（前年同期比3.1%減、138百万円減）となりました。

##### （テキスタイル販売部門）

国内は既存顧客との取り組み強化や新規顧客の開拓を進め、ユニフォームや資材用途向けの販売強化に努めた結果、増収となりました。一方、海外では、インドネシア子会社において、旺盛なローカル市場向け需要を取り込むため、委託加工比率の拡大を積極的に進めたことにより、縫製品販売事業向け加工スペースが縮小した影響で、テキスタイル販売部門の売上高は1,128百万円（前年同期比4.2%減、49百万円減）となりました。

#### ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシア一貫生産体制による製品販売に注力すると共に、売上重視から採算重視の販売方針の転換を図り、売上高は365百万円（前年同期比61.1%減、574百万円減）の減収となりましたが、不採算取引を全て見直したこと及び輸入管理に伴う物流コスト圧縮効果により、営業利益は16百万円（前年同期は営業損失26百万円）となり、黒字化を達成しております。

#### ③保育サービス事業

保育サービス事業は、企業や病院等の企業内託児所を順調に拡大し売上高1,133百万円（前年同期比13.5%増、134百万円増）と増収になりましたが、保育士の確保・定着を図るための待遇改善及び業容拡大を見据えた採用活動を進めていることでコスト増となり、営業利益は9百万円（前年同期比31.4%減、4百万円減）となりました。

#### ④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴い、荷取量が落ち込んだことで売上高124百万円（前年同期比3.2%減、4百万円減）と減収となりましたが、営業所・事業所間でのトラック便を内製化させるなど経費圧縮に努め、営業利益は3百万円（前年同期比730.7%増、2百万円増）の増益となりました。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、不動産賃貸事業等に加え、当期より事業を開始した洗濯事業が含まれており、売上高は145百万円（前年同期比19.2%増、23百万円増）の増収となりましたが、洗濯事業に伴う整備・運用費用の先行もあり、営業利益は44百万円（前年同期比19.8%減、11百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,825百万円（前連結会計年度末比0.3%減、44百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少663百万円、機械装置及び運搬具の増加109百万円、投資有価証券の増加293百万円等によるものです。

負債は、7,157百万円（前連結会計年度末比3.2%減、239百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少73百万円、短期借入金の返済による減少392百万円、長期借入金の増加282百万円等によるものです。

純資産は、7,667百万円（前連結会計年度末比2.6%増、194百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加125百万円、配当金の支払による減少150百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加203百万円、為替換算調整勘定の減少22百万円、非支配株主持分の増加33百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、平成29年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,028,081	2,019,271
受取手形及び売掛金	3,703,012	3,039,448
商品及び製品	147,339	185,082
仕掛品	339,102	396,324
原材料及び貯蔵品	377,522	366,143
繰延税金資産	79,160	60,361
その他	160,882	192,690
貸倒引当金	△82,626	△81,308
流動資産合計	6,752,476	6,178,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,336,508	1,405,046
機械装置及び運搬具（純額）	1,781,297	1,891,278
土地	1,790,244	1,790,118
建設仮勘定	218,004	150,445
その他（純額）	328,406	426,904
有形固定資産合計	5,454,462	5,663,792
無形固定資産		
その他	43,007	60,988
無形固定資産合計	43,007	60,988
投資その他の資産		
投資有価証券	2,175,905	2,469,776
繰延税金資産	31,690	35,893
その他	417,728	422,215
貸倒引当金	△5,144	△5,144
投資その他の資産合計	2,620,180	2,922,741
固定資産合計	8,117,649	8,647,522
資産合計	14,870,126	14,825,536

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,675	1,749,351
短期借入金	1,210,573	817,870
未払法人税等	91,998	52,068
賞与引当金	178,300	132,579
その他	1,189,109	1,157,938
流動負債合計	4,492,656	3,909,807
固定負債		
長期借入金	902,500	1,185,000
役員退職慰労引当金	17,032	18,658
退職給付に係る負債	1,213,851	1,193,725
資産除去債務	41,068	41,534
その他	729,868	808,893
固定負債合計	2,904,321	3,247,812
負債合計	7,396,978	7,157,619
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,949,458	1,924,371
自己株式	△495,008	△495,322
株主資本合計	7,154,570	7,129,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554,974	758,920
為替換算調整勘定	△805,838	△828,486
退職給付に係る調整累計額	△108,541	△103,532
その他の包括利益累計額合計	△359,405	△173,098
非支配株主持分	677,983	711,845
純資産合計	7,473,148	7,667,917
負債純資産合計	14,870,126	14,825,536

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	7,628,006	7,067,975
売上原価	6,407,426	5,865,261
売上総利益	1,220,579	1,202,714
販売費及び一般管理費	819,765	850,972
営業利益	400,813	351,742
営業外収益		
受取利息	1,124	2,000
受取配当金	30,887	26,829
受取保険金	31,569	—
為替差益	—	1,725
雑収入	19,972	8,339
営業外収益合計	83,555	38,895
営業外費用		
支払利息	12,279	8,584
為替差損	15,376	—
支払手数料	6,030	6,356
雑支出	30,473	7,366
営業外費用合計	64,160	22,307
経常利益	420,208	368,329
特別利益		
国庫補助金	36,557	—
特別利益合計	36,557	—
特別損失		
固定資産圧縮損	36,557	—
特別損失合計	36,557	—
税金等調整前四半期純利益	420,208	368,329
法人税、住民税及び事業税	111,746	104,317
法人税等調整額	19,100	24,125
法人税等合計	130,847	128,442
四半期純利益	289,361	239,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	102,982	114,802
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,379	125,084



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	289,361	239,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,957	203,946
為替換算調整勘定	△165,113	△44,405
退職給付に係る調整額	△2,717	△1,002
その他の包括利益合計	△252,788	158,538
四半期包括利益	36,573	398,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,193	327,088
非支配株主に係る四半期包括利益	39,766	71,337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	420,208	368,329
減価償却費	210,750	226,685
補助金収入	△36,557	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,422	△36,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,393	△1,219
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,670	△45,721
受取利息及び受取配当金	△32,012	△28,829
支払利息	12,279	8,584
為替差損益(△は益)	△14,254	△2,026
有形固定資産廃棄損	3,733	2,187
固定資産圧縮損	36,557	—
売上債権の増減額(△は増加)	659,234	641,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,345	△91,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△251,244	△61,954
未払費用の増減額(△は減少)	△24,073	2,740
その他	△98,568	△107,256
小計	778,006	874,769
利息及び配当金の受取額	32,012	28,829
利息の支払額	△11,993	△8,750
法人税等の支払額	△169,025	△145,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	628,999	748,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△412	△10,853
有形固定資産の取得による支出	△241,537	△448,454
有形固定資産の売却による収入	—	810
子会社株式の取得による支出	△13,691	—
補助金の受取額	36,557	—
その他	△1,565	△2,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,648	△460,710
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△380,000
長期借入れによる収入	600,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△338,687	△329,446
セール・アンド・リースバックによる収入	—	120,063
リース債務の返済による支出	△69,880	△104,227
配当金の支払額	△153,493	△150,171
非支配株主への配当金の支払額	△30,268	△51,278
その他	△295	△314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,625	△295,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,032	△14,370
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,306	△21,498
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,204	1,909,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,418,897	1,887,615

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,681,408	839,686	998,636	5,896	7,525,628	102,377	7,628,006	—	7,628,006
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333	100,832	—	123,109	224,275	19,225	243,500	△243,500	—
計	5,681,742	940,519	998,636	129,005	7,749,903	121,603	7,871,507	△243,500	7,628,006
セグメント利益又は 損失（△）	357,563	△26,532	13,140	393	344,564	56,068	400,633	180	400,813

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額180千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,493,119	348,295	1,133,560	6,798	6,981,773	86,202	7,067,975	—	7,067,975
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	131	17,688	—	118,096	135,915	58,805	194,720	△194,720	—
計	5,493,250	365,983	1,133,560	124,894	7,117,689	145,007	7,262,696	△194,720	7,067,975
セグメント利益	277,335	16,989	9,012	3,272	306,610	44,952	351,562	180	351,742

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業、洗濯事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額180千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。